



毛塚友梨 Yuri Kezuka

作品名：「中身 - たい焼き -3」

サイズ：W166×D100×H40(mm)

制作年：2013年

価格：21,000円（税抜）

◆陶芸とは

陶芸というのは空洞を作ることです。

陶芸の始まりは原始時代に食糧などを入れる容器が作られ始めたことからだと言われています。

つまり、空洞を必要として作られたものです。なので形がありながらも本体はその中にある空洞です。

では、「中身」の話の続きになりますが、日本人は中身には何も無いということをどのように考えているのでしょうか。

◆日本人が考える中身がないもの

- ・口先ばかりで行動が伴っていないこと一人間の性質（中身）
- ・具体性のないこと一物事の内容（中身）
- ・個性のなさ一人間の性質（身）
- ・知識のなさ一人間の性質（中身）
- ・根拠がない一物事の実質（中身）
- ・後付けの物一物事の実質（中身）

中身がないということについて人が主に

「人・事物の性質・内容」について考えているということが分かりました。

それを私は「真理」に近いものではないかと考えました。

真理とは、「相対的に変化するものではない、人間が追い求める不変の物事ということ」

とこの中では定義しようと思えます。

中身には何も無いということを陶芸に関連させて作品に表してみました。

私の作った鯛焼きには中身がありません。

通常あんこが詰まっている部分が空洞になっています。

なので、先ほどの陶芸の話に関連させて考えると、本体が空洞ということになります。

それでは、この鯛焼きの中身は何なのでしょう。

この鯛焼きは空洞を「掛け花」としてお使い頂けるように作っております。

ですから、この鯛焼きの本体である「中身」はお花を生けることによってお客様がお作りになるのです。

この鯛焼きの中身はお客様次第で、お客様にしか出せない個性のある千差万様の姿を見せます。

きっと、お客様の鯛焼きにも素敵な「中身」が咲く事でしょう。